



2003年9月7日(日)「西沢溪谷ハイキング」に出かけました。WTR CLUBのイベントとしては2回目。1回目は、1997年10月25日(土)でした。その時は、まさに紅葉をめがけて出かけ、ハイキングコースの大渋滞を体験しました。もちろん、紅葉は素晴らしく、渋滞のおかげでじっくり上を眺める余裕もあったので…。今回は季節を変えて、美しい水の流れを感じながら、身体にやさしいハイキングもいいかなと思ったわけです。

集合場所には、加藤夫妻がお友達を連れてきていました。山浦さん母娘です。「初めまして」????ところが、娘さんの加部(結婚しました)由起さんは、町田も小野さんも会っているようです。由起さんは、1997年の「ホノルルマラソン」に参加し、小野さんのハワイの別荘でのバーベキューに招かれたようです。町田は、その様子を編集しましたし、「ホノルルマラソン」のためのシューズを「WEST EAST」で販売したのかな…。山浦さんは、揖斐さんの同級生とか。

7年の時を越えて、HUM HUM ~ DEAIHA HUSHIGIDA ~
ところで、町田はパパになるまでもう少し、~~~タバコの行方は~~~



「高校生？」

朝7時30分、JR八王子駅いつもの横浜線ホームに集合したのは、小野勝彦さん、加藤忠さん、加藤純代さん、宮部忠和さん、宮部香与子さん、河合稔さん、横山和明さん、そして新たに、山浦ヒサ子さんと娘の加部由起さん、町田行弘の10名でした。加部さんを見た小野さんは、「高校生（まさか中学生とは言っていないと思ったが...）」確かに、加部さんは線が細くて小柄なのでネ。お母さんの山浦さんが揖斐さんと同級生です。ちなみに揖斐さんには孫がいます。そして、加部さんは結婚しています。さらに、7年前の「ホノルルマラソン」に出場して、小野さんの別荘でさんまパーティに参加したということですから驚きです。

予定通り、7時37分の高尾行きに乗り、高尾駅で、8時の甲府行き電車に乗ります。前回の富士山の時もそうでしたが、この電車は“西沢溪谷号”のようです。ハイキングコースのある途中駅で降りないのはなぜ？なんで私たちと同じ場所へ行くの？偶然なのか？自意識過剰なのか？不思議なものです。

のどかな山梨

電車は、9時21分塩山駅に到着しました。同じ車両に乗っていたほとんどのハイカーがここで降りました。そして、その半数近くの団体は、あらかじめ予約しておいたタクシーで消え去りました。私たちの乗るバスの発車時刻は、9時31分。トイレを済ませてバス停に行くと、少し小さめのバスがすでに来ていて、中はほぼ満員の状態です。さらに乗客が多ければ、臨時

バスを出すところなのでしょうが残念ながらその必要はなさそう。混んだバスに乗り込みますが、発車時刻を過ぎても運転手はバスに乗らないのです。“次の電車の到着を待っているのかなぁ？でも、このバスにはもう乗れないだろうに...”すると、そこへ軽トラックが到着し、外にいたバスの運転手に運賃箱の中の金庫を手渡し、ようやく発車しました。ルーズというか、のどかというか。随分と待たされたようで、10分足らずのこと。

2時過ぎに夕立？

10時20分、西沢溪谷入口に到着。帰りのバスの時刻を確認、15時46分、その前が14時35分、最後は17時39分です。まずは、“不動小屋”に寄ってトイレと腹ごしらえ（このよもぎ柏餅はおいしい）そして情報収集（例えば、台風などで、ハイキングコースの一部が崩れ、本来周回コースが折り返しになるということも）。この日は、「2時過ぎに夕立が来そうな空模様だから早めに出発したほうがいいよ」ということ。念のため、安いビニール雨カッパでもと“不動小屋”の中を見渡したのですが、無い。小屋の人に「雨カッパはありますか？」と尋ねると「あるよ500円」と奥から出てくる。“どういうこっちゃ”



10時35分、出発します。車両進入禁止となっている舗装された林道をのんびり20分ほど歩くと、西沢溪谷を周回してきたコースとの分岐点に到着。ここにトイレがあります。ここから先トイレはなく、この次のトイレはここです。この分岐で右に進みます。道は未舗装になり、今や営業しているとは思えない“西沢山荘”のわきから溪谷散策が始まりました。5分ほど





で、西沢溪谷本来の入口といえる“二俣吊り橋”に。吊り橋の下は、東沢が流れています。東沢は、間もなく西沢と出会い笛吹川となるのです。私たちが歩くのは西沢に沿ったハイキングコースで、ここから美しい水との戯れが待っています。

シャッターは押した者勝ち？

ハイカーもまばらな歩きやすい、(まさに)ハイキングコースをしばらく行くと、“大久保滝”が現れます。大久保滝が西沢に流れ落ちて合流しているのです。ここから、急な階段の上りが続きました。7年前に来た時、ここは岩場で、渋滞の原因と思われる場所でした。それにしても、都会の建物の中にもありそうな階段とクサリは…。階段を上りきると緩やかな下りの道になり、同時にエメラルド色の水の流れが近づいてきます。“魚留滝”を上から見下ろし、大きく下ると“三重ノ滝”の表示。左方



向に寄り道すると、展望ポイントがあります。西沢の流れが岩の上を滑らかに三段階に下る様子が目の前に迫って来ます。そうそう、加藤さんはデジタルカメラを新たに購入して、夫婦で撮りまくっていました。町田がカメラを向けると、どちらかがカメラのファインダーを覗いているという感じ。一方の宮部夫妻はせっかく購入したデジタルカメラを家に置いてきてしまったということ。ちょっともったいない気がしますネ。

食後の…飴

寄り道を終えて、本コースに戻ると、水の流れはすぐそこ。間に狭い河原が続いていました。所々で少し早い昼食を摂るハイカーたち。時刻は11時30分をまわったところ。もう少し先でと思いましたが、水際のコースが再び上り始めているではありませんか!“この先こんな場所は無いかも知れない”“ここでお弁当にしましょう”それぞれ座りやすそうな石をみつけて、ちょっと不安定ながらも腰を下ろしての食事です。町田は、食後のいっづくという気分でしたが、麻樹(妻)が妊娠9ヶ月ということで、WTR CLUBの方々(特に宮部香与子さんから強く)に「止めなさい!」とアドバイスというか脅迫(?)されているというか…、弱気になりまして、吸うことができません。加藤さんから飴をもらって口に入れて出発します。





飽きることない水景色

少し上りますが、水の流れるは離れることはありませんでした。

“ウナギ床” “人面洞”などの変わった岩を眺めつつ、緑と岩と水にかこまれて歩くと、岩の容器からエメラルド色の水があふれている場所がありました。“竜神ノ滝”です。ハイキングコースは岩の上のアップダウンを繰り返し、対岸の岩から細く流れる“恋糸ノ滝”、西沢本流の迫力ある“貞泉ノ滝”水の流れて浸食された甕穴“母胎淵”カエル岩”と眺めに飽きることはありません。水の流れるとの距離も絶妙で快適です。



知らず知らずのうちに上らせて、緑が深くなり、山奥に入り込んだと感じるころ、“方丈橋”に着きました。長さ10メートルほどの木造の橋で「1人づつ(ずつ)わたれ」と注意書きがあります。渡り終わる直前、右方向に滝が一部はみ出して見えました。少しなのにかかなりの迫力を感じます。橋を渡り終わると急な上りが始まり、同時に



人口密度が増してきました。しばらくするとこのコースのクライマックス“七ツ釜五段ノ滝”が見えてきます。始めは、滝全体の下の方、歩き進むにつれ、右方向にのびている上の方の滝が眺められます。カメラを手に絶景ポイントを探し、立ち止まって数枚撮影するハイカーが多く、混雑していました。町田も加藤夫妻もそうでした。下の方にさっき渡った“方丈橋”を見て、さらに上流へ向かうと、“不動ノ滝”がありました。ここで、西沢と別れ、左方向に上ったところで“西沢溪谷終点”となります。

“いやあ～素晴らしかった！”



昔は命がけ？今は退屈...でいっぱい

一休みして、13時15分、出発します。帰り道は、歩きやすい“森林軌道跡”を下ります。“森林軌道跡”は、トロツコの軌道跡で、昭和8年から43年まで、この辺りの木材の輸送に使われていたそうです。塩山駅までの36キロをブレーキ操作だけで下り、帰りは馬に引かせて上ったということ。確かに所々にレールが残っているほどとは思いますが、実際に木材を積んでこの道をトロツコで下るとするのは怖すぎる！それもたった(?)35年前。

ちょっと退屈な“森林軌道跡”を歩くこと1時間、広い林道に出たところで、眠くなった町田は最後尾でタバコに火を点けました。先を歩いていた宮部さんたちが、林道をそのまま行くか、近道の標識に従うかで町田を待っていました。「あら！後ろのほうにいたと思ったら」「眠くなっちゃって」といいわけ。安全のため近道は避けて素直に林道を歩きます。そして“ねとり橋”を渡ると見覚えのあるトイレ。“不動小屋”に着いたのは14時45分。バスは15時46分。こんなタイミングを狙うタクシーに運良く(?)狙われて、塩山まで1台6000円という交渉が成立します。バスは1020円、タクシーは1200円、悪くはありません。もう一台が到着するまでビールを飲んで、くつろぎます。間もなくタクシーが来て、バスだと1時間以上かかるのを約30分で塩山駅に着きました。武田信玄公の前で記念撮影をして、帰路に就きました。





町田行弘	229-1103	神奈川県相模原市橋本 5-29-12 メゾン・アン・ソレイユ 201 042-773-7415
小野勝彦	194-0041	東京都町田市玉川学園 8-22-2 042-725-8403
加藤忠	194-0033	東京都町田市木曽町 651-1 市営 1-201 042-727-8949
加藤純代	194-0033	東京都町田市木曽町 651-1 市営 1-201 042-727-8949
宮部忠和	192-0363	東京都八王子市別所 1-103-15 0426-78-0666
宮部香与子	192-0363	東京都八王子市別所 1-103-15 0426-78-0666
河合稔	194-0000	東京都町田市下小山町 2979-2 042-797-1611
横山和明	195-0062	東京都町田市大蔵町 2181-4 042-735-5662
山浦ヒサ子	194-0044	東京都町田市成瀬 2291-7 090-5348-6180
加部由起	216-0031	神奈川県川崎市宮前区神木本町 5-8-5-203 090-7809-9850

